



第22回ヨーロッパ青少年消防オリンピックに 日本代表チームが出場！

【7月14日～21日 スイス・マルティニ】

日本消防協会

1 はじめに

日本消防協会と日本防火・防災協会は、少年消防クラブ育成支援の一環として、今年7月にスイス・マルティニで開催された第22回ヨーロッパ青少年消防オリンピックに、日本全国から選抜された4つの少年消防クラブを派遣しました。

この大会は、CTIF（ヨーロッパ各国を中心に組織する国際消防組織で日本も加盟）が2年に1回開催しているものであり、今回は23か国、56チームが参加しました。

日本は2009年チェコ、2015年ポーランド、2017年オーストリアに続く4回目の出場です。

2 派遣団は総勢 29 名

派遣団は各クラブ員5名、指導者1名の合計24名と、日本消防協会職員5名を併せた総勢29名です。

JAPAN 1	東京都	町田消防少年団
	大阪府	河南町ファイアジュニア
JAPAN 2	北海道	厚別中央しなの少年消防クラブ
	高知県	赤岡町少年防災クラブ

3 2 種目の競技に参加

競技は消防の実技を取り入れた障害物競技と、400メートル障害リレーの2種目です。不慣れ



障害物競技の様子

なヨーロッパ仕様の資機材を使用したこともあり、結果はJAPAN1が44位、JAPAN2が55位と上位入賞出来ませんでしたが、選手たちの一生懸命取り組む姿勢に、会場の多くの観客から温かい拍手とエールが送られました。



400メートル障害リレーの様子

4 国際交流イベント

大会期間中は、様々な国際交流イベントが開



国別展示の様子



キャンプオリンピックの様子

催されました。

国の文化などを紹介する国別展示の日本ブースでは、「折り紙」や「紙風船」「うちわ」などの配布が好評で、日本グッズは大変人気がありました。また、50種類以上のレクリエーションゲームを行ったキャンプオリンピックでは、他国の子供たちの様子を参考にしながら、水や泥にまみれて楽しみながら取り組みました。

5 お国自慢大会第2位入賞！

23か国が参加したお国自慢大会では、各国の歌やダンスなどを披露するイベントで、日本は「よさこいソーラン侍」の演舞を披露しました。ヨーロッパ各国とは全く違う文化の日本の踊りは、観衆の心を魅了しました。その結果、見事第2位入賞を果たしました。



よさこいソーラン侍を披露する様子

6 おわりに

今回のオリンピック派遣期間で、選手たちはもちろん、参加したすべての者が大変貴重な経験をさせていただきました。

スイスという異国の地で、言葉も通じずに戸惑い、宿泊施設として使用した学校では、簡易ベッドに寝袋で生活するという過酷な条件でありました。しかしながら、同行してくださった添乗員さん、現地ガイドさん、通訳さんなどの様々な方々のサポートのおかげで、充実した日々を過ごすことが出来ました。

選手たちにとって、この経験が今後の人生に大いに活かされ、消防・防災の担い手として活躍してくれることを期待します。



チームワークが大切でした



日本代表選手団（大会会場にて）